

真田町 文化協会報



令和6年3月16日

Vol.10

事務局 真田中央公民館内 TEL72-2655



2023年3月18日 シリーズ文化講演会 講師の千田先生と記念撮影

真田町文化協会加盟団体

真田書道教室

傍陽書道クラブ

真田町写真クラブ

真田町舞踊連合会

真田絵画クラブ

信州真田六文銭太鼓保存会

真田町陶芸クラブ

ばれんの会

月琴会

真田町郷土史研究会

木々笑会



真田書道教室

書道

真田書道教室は、毎月第2、第4火曜日の午前中に、清水桂石先生にご指導いただき、真田中央公民館で活動しています。年間を通して、古典臨書と日本書道教育会不二誌にて書道学習しております。各自のペースで続けていけるよう無理のない教室です。

真田総合文化祭や県展へ出展したりしております。いつでもご参加下さい。

傍陽書道クラブ

書道



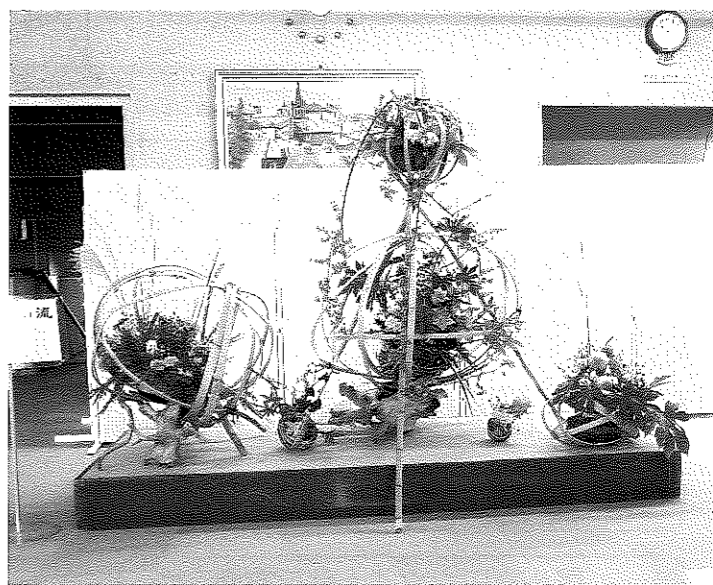
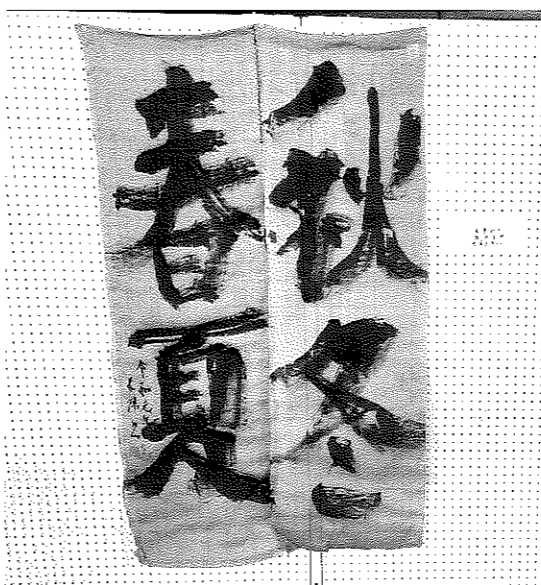
この会は、月二回火曜日の一時半より飯島頼陽先生の御指導の元、八人の会員で行っています。月毎提出する課題は、書源のテキストにより、条幅、カナ、漢字、臨書を本部に送り、作品の評価はテキストの末尾に掲載されそれも又、励みになる様に思います。真田文化祭、上田文芸展への参加の他に、宇野幸村展、県展等夫々の希望に応じた挑戦の場があります。会員の高齢化と共に参加者が減少してきました。興味ある方一緒に如何ですか？

新たな五十回に向かって

真田町文化協会 会長 佐藤 和雄

昨年旧真田町時代から数えて五十回目を迎えた真田地域総合文化祭は、今年度から新たな五十回に向かって全体の見直しを行いスタートしました。大きな変更点は、開催日を土曜日と日曜日の二日間にしたことです。作品展示では出品点数を三点から五点に増やし、展示会場の見直しを行いました。出点点数を増やしたことでボリュームが出てとても見ごたえがありました。舞台発表祭では出演順序を大幅に変更し、大勢の観客の皆様が最後までご覧いただけるように工夫しました。開催日を土曜日と日曜日にしたこと作品展示では多くの方にご協力をいただき、会場準備と展示や会場撤去と作品の撤収がとてもスムーズに短時間で済みました。舞台発表祭では準備時間も会員の協力などで短縮でき大勢の皆さんに

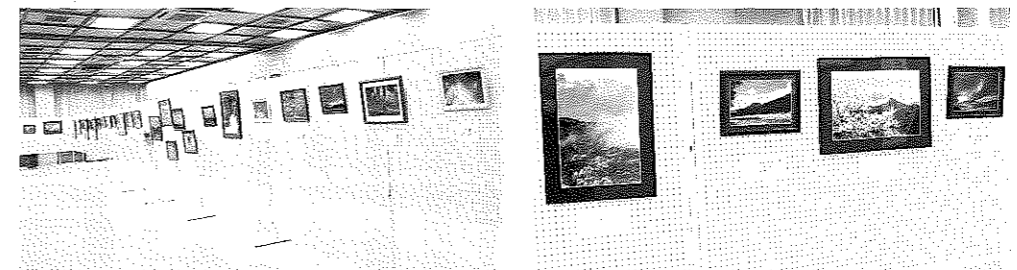
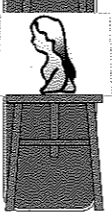
最後まで大きな拍手を送っていただき午前中に終了することができました。来場者数も昨年を大幅に超える皆さんに来ていただき本当に良かったと思います。今年度の開催状況をさらに見直して次年度の総合文化祭をさらに盛大に、また大勢の皆さんにご来場いただけるようにしたいと思います。そこでお願ひですが真田町文化協会では参加したい団体への申し込みや新たなサークルへのご入会をお待ちしています。ご不明な点は真田中央公民館事務局にお問い合わせください。真田町文化協会の発展に、会員や地域の皆様のさらなるお力添えをよろしくお願ひいたします。





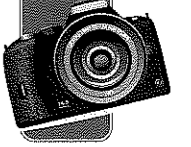
年度始めに仲間が増え気持ちを新たに、たくさん描きました。と言いたいところですが、公募展「真田の郷を描く」が開催できることになり、その準備運営に力を入れた一年でした。十一月に開催した作品展は応募六十一作品、来場者のべ七百余名という予想以上の反響をいただきました。真田町文化協会の皆様をはじめ、教育委員会、真田の郷まちづくり推進会議の皆様にご理解と力強いご支援をいただきましたこと、感謝しております。地域内外の皆さんに真田の郷のあちらこちらの風景を描いていただき、真田の郷の魅力を再発見でき、自分たちももっと描きたいと思っています。一緒に描きませんか。第一、第三水曜日の一時半から、真田中央公民館でお待ちしております。

真田絵画クラブ



デジタルカメラが使われ始めて三十年以上たちます。今はだれでもシャッターを押せばきれいな写真が撮れる時代です。だからこそ人と違った作品を残すにはひと工夫が大事になります。まず撮影する段階で自分は何をどう表現したいのかきちんと決めて撮る事です。そうする事により、出来上がった作品に作者の伝えたいことがきちんと写っています。これがとても大切で作品の仕上がりに大きく影響し、結果的に見る人に大きな感動を与える作品が出来上がります。デジカメは気軽にたくさん撮ってしまいがちですがシャッターを押す前にもう一度全体の構図や画角を確認しましょう。たくさん撮った中から選ぶのではなく一枚に気持ちを込めて撮ることが良い作品を作る第一歩です。あとはカメラ機能を使いこなすことです。いろいろな機能を試し確認し自分の身体の一部になるくらいにしてしまおうと自分の表現したいと思っていることをカメラの機能が変わって処理をしてくれて思いどおりに表現できます。真田町写真クラブでは、撮影の基本から撮影後の画像処理まで会員みんなで楽しく学んでいます。男女・年齢を問わずだれでも気軽に楽しめますので皆様のご入会をお待ちしています。

真田町写真クラブ

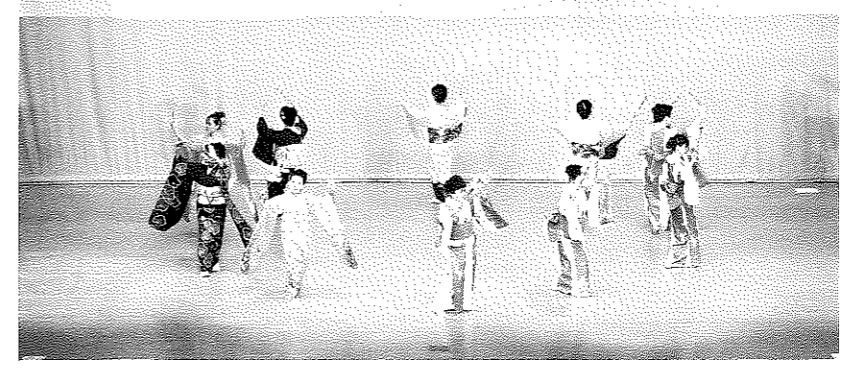


真田町舞踊連合会

舞踊は「礼儀から始まって、礼儀で終る」とも言われる位礼儀作法から始まっています。又、古来からの日本文化を伝える為にも、日々お稽古に励んでいます。コロナがら類に移行してから老人ホームからのボランティア依頼が多数有り、福祉の多方面に渡り貢献しております。心と身体の美しさを身に付ける為にも皆さん、舞踊に参加しましょう。お待ちしております。



第51回真田総合文化祭舞台発表祭



信州真田六文銭太鼓保存会

信州真田六文銭太鼓保存会は真田氏発祥の地、上田市真田町にて真田一族初代、真田幸隆の活躍を伝統芸能である太鼓で表現している団体です。真田一族発祥の地、真田町にて真田氏の不撓不屈な精神と真田魂を和太鼓によって継承していこうと有志により声掛けが始まり町民の御寄付によって平成6年に会が発足されました。現在では地元に限らず、全国に真田魂を伝えるため、又、和太鼓の楽しさを知ってもらうのと同時に真田町や真田氏のことを知ってもらうため各地イベントへの参加や太鼓教室等の活動をしています。

真田地域にこだわらず老若男女どなたでも入会できます。現在は小学校低学年からは自分が辞めるというまでたくさん年齢層で構成されています。

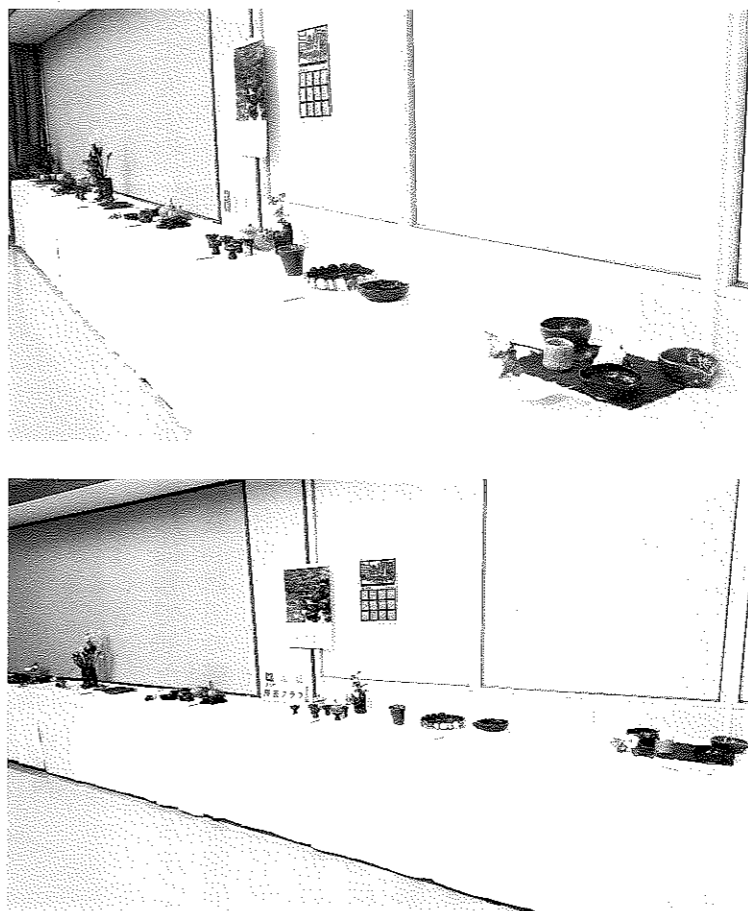
練習場所・真田町福祉センター講堂
練習日、時間・毎週月、金(第三金曜は休み) 19時〜21時30分
詳しくは問い合わせ下さい。



真田町陶芸クラブ

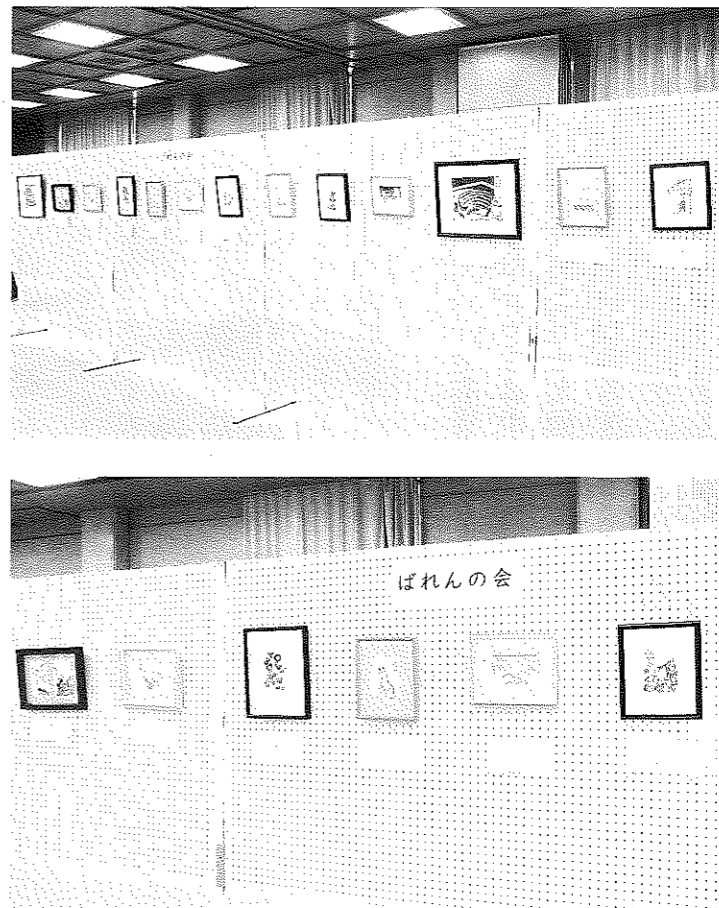
真田町陶芸クラブは、文化祭への出展を目標に四月から製作活動を行っています。各自自由に思いついた作品を作り日常生活に使ったりして楽しむことができます。

現在指導者はいませんが仲間同士で協力して楽しく活動しておりますので興味のある方は見学だけでもどうぞいらして下さい。第一・二の土曜日、午後一時三〇分からです。



ばれんの会

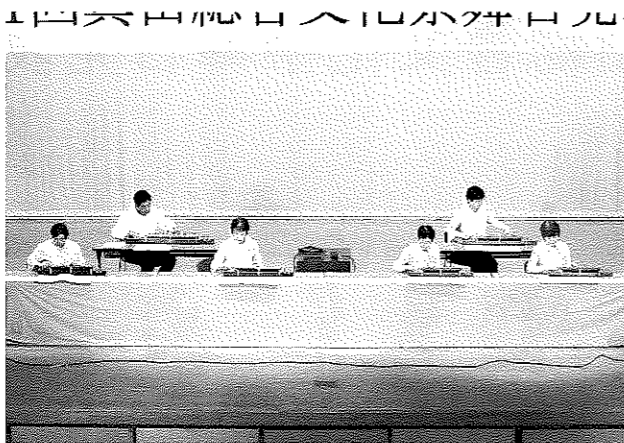
ばれんの会は、木版画で暑中見舞、年賀状を製作し、毎年文化祭と隔年でギャラリーバスへの出展をしています。昨年は「真田の郷を描く」作品展にも出展しました。例会はメンバーのお宅で毎月一回、作品の意見交換や情報交換をしています。二月に講師の岩田良雄先生が亡くなられ、七名のメンバーのみの活動となりましたが、県内外の美術館へ出かけたたりして楽しみながら続けていきたいと思っています。



月琴会

今日は大正琴の練習日だと思ふと朝から家事をテキパキと熟している気がします。やはり一人で練習するより4パート合わせてする方がずっと楽しいです。

大正琴の楽譜は音符ではなく数字で表されています。左指で琴の音階ボタンを押して右指でピックを持ち弦をはじくだけで、誰でも音の出せる楽器です。もちろん一人でもメロディを奏でられますがやはり仲間とおしゃべりも楽しみながらする練習が一番です。あなたも参加しませんか。



真田町郷土史研究会

真田町郷土史研究会は、七十名の会員で構成され、視察研修及び学習部会「古文書を読む会(毎月第四木曜日)」の活動を行いました。総会では六月研修予定の事前研修を兼ね宮下健司先生(八十二銀行文化財団理事)に「坂城町・千曲市の史跡について」講演を頂き、六月の視察研修は真田中央公民館と共催で実施しました。近くで在りながら神社、仏閣を講師の説明を受けながらの研修は大変有意義に感じました。十月には「大町市方面の史跡探訪」を、真田中央公民館と共催で実施しました。霊松寺の葉付きイチョウ(葉に銀杏の身が付いている)、仁科神明宮の歴史に感銘を受けました。

三月に総会と講演会を予定しております。会員も高齢化とともに減少しており新規会員の募集をしております。

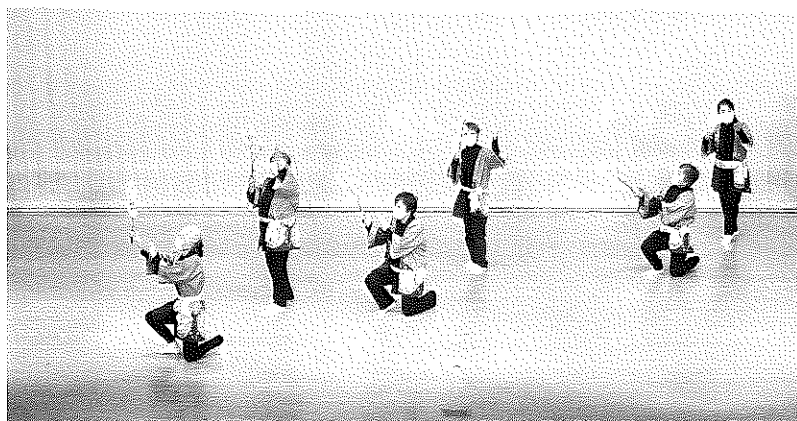


令和5年度視察研修
千曲市上山田 智識寺大御堂前

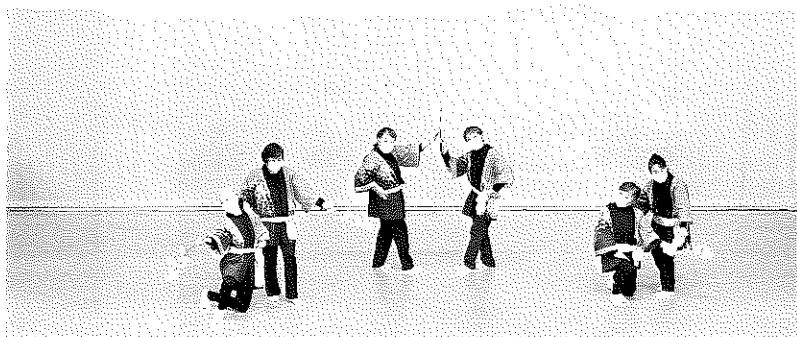
木々笑会（ここえみかい）

木々笑会は毎月二回、第二と第四の木曜日、午後一時半から三時まで神川地区公民館で民踊を習っているグループです。

指導をして下さるのは、鬼久保昌子先生です。全国各地の民踊を楽しく教えていただいています。又、施設の慰問なども行って、よろこんでいただいています。



11回真田総合文化祭舞台発表



文化祭展示全景